

令和7年度 藍住東小学校経営方針

2025/4/1 栗田敏宏

1 校訓 「明るく 楽しく たくましく」

学校教育目標

「明るく 楽しく たくましく」 未来を創造する 生きる力をもった子どもの育成
スローガン 『もっと 笑いあい 支えあい 学びあい あい・東小』

2 本年度重点目標

- (1) 確かな学力の育成
学習への意欲を高め、子どもの学力向上や可能性を伸ばすための教育を実践し、子どもの確かな学力を育む。
- (2) 温かな心と豊かな人権感覚の育成
自他を大切に、温かい人間関係をつくり、豊かな人権感覚を持つ子どもを育む。
- (3) 安心・安全で信頼される学校づくり
子どもたちが生き生きと活動でき、心と体が安心・安全な学校づくりを推進する。
- (4) 家庭・地域とともにある学校づくり
学校・家庭・地域の交流や信頼感を大切にしながら、豊かな心や創造性を育成する特色ある学校づくりに努める。
- (5) 健やかな心と体の育成
生活習慣の確立に向け家庭との連携を図り、心身の健康と体力向上を推進する。
- (6) 信頼される教職員集団づくり
高い倫理観と使命感のもと、自らの指導力、教育力を高め、児童・家庭・地域から信頼される教職員集団づくりに努める。

3 めざす姿

(1) めざす学校の姿

- 明るく楽しい学校
子どもや教職員が温かい人間関係でつながり、めあてに向かって努力する学校
- 伸びる学校
子どもも教職員も探求心に満ちた中で、生き生きと活動する学校
- 安全・安心な学校
命の尊さ・安全教育の指導と管理を徹底し、事故ゼロを目指す学校
- 開かれた学校
情報発信・説明責任を果たし、家庭や地域と信頼と和で結ばれている学校
- 美しい学校
隅々まで美しく整備・整頓された環境の中で、豊かな情操を育む学校

(2) めざす子どもの姿

- | | | | |
|---|------------------|---|---------------------|
| あ | 明るく自分からあいさつする子 | … | 自らあいさつしようとする子ども |
| い | いつも思いやりの心で仲よくする子 | … | 思いやりの心をもって力を合わせる子ども |
| ひ | 瞳かがやかせ体をきたえる子 | … | 意欲的に体力を高めようとする子ども |
| か | 学習することを楽しむ子 | … | 学ぶことを楽しいと感じる子ども |
| し | しっかり考えて行動する子 | … | よく考えて、正しく行動する子ども |

(3) めざす教職員の姿

- 子どもたちに、愛情と優しさで使命感をもって接する教職員
- 心身ともに健康で、互いに支え合い、協働する教職員
- 正しい教育観をもち、子どもたちや保護者から信頼される教職員
- 学識豊かで、社会人としての良識があり、指導力の優れた教職員
- 常に研究課題や目標をもち、自主的に自己研鑽に励む教職員

4 重点目標の達成に向けた取組

(1) 確かな学力の育成

- 学習規律の確立と基礎・基本の徹底に学校全体で取り組む。
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に力を入れ、一人一人の子どもたちが学ぶ喜びを味わうことができる学習を進める。
- 主体的・対話的で深い学びの充実のための授業改善に取り組む。
- ICTの効果的な活用に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- 教材研究を充実し、子どもの発達段階や実態に応じた指導計画を作成し、子どもが意欲的に取り組む授業を創造する。
- 一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた指導内容や指導方法の工夫を学校全体で取り組む。
- 特別支援学級では個別の指導計画・支援計画を作成し、保護者と連携しながら将来を見通した指導を行い、将来の就学指導や就労保障につなげる。

(2) 温かな心と豊かな人権感覚の育成

- 同和問題を人権教育の重要な柱に据えて学習を行うとともに、様々な個人権課題にも子どもの発達段階に合わせて取り組む。
- 日常生活における小さな人権問題も見逃さない人権感覚を養うとともに、家庭や地域の理解・協力を得て、家族ぐるみ、地域ぐるみの人権教育を推進する。
- 人権問題を教職員自らの問題としてとらえ、人権教育の推進を図る。特に、同和問題についての理解を深め、差別意識解消に務める。
- ポジティブ行動支援(PBS)の考え方をもとに、児童一人一人が自尊感情を高め、個性を発揮できるような教育活動を推進する。
- 教育活動全体を通じて計画的に進め、自他の人権を尊重する実践的態度を身につけた子どもを育てる。
- 「自分ならどうするか」を正面から問い、多面的に物事を考えて議論する道徳の授業を行う。
- 地域との交流・体験活動等を通して、道徳的実践力を育てる。

(3) 安心・安全で信頼される学校づくり

- 深く受容的な児童理解を生徒指導の基盤とし、児童の意志を尊重して生徒指導を進める。
- 教職員と子ども、子どもと子ども、教職員と保護者との温かい人間関係を構築し、信頼感や共感的理解に基づいた生徒指導を推進する。
- 生徒指導体制を確立し、全ての教職員が子どもたちの日常生活に目を配り、全児童を全教職員で協力して指導・支援する。
- いじめの根絶と不登校・不適応児童への対応を図り、全て子どもたちが安心して生活できるようにする。
- 自らの命や安全は自分で守ることのできる子どもの育成を図る。
- 施設・設備の安全点検を計画的に実施し、安全管理の徹底を図る。
- 様々な災害に対する避難訓練等を実施し、危機回避能力の育成に努める。
- 教職員の危機管理意識の向上と危機管理マニュアルの周知徹底を図り、不測の事態に対する積極的な備えを進める。
- 感染症や熱中症への対策を積極的に取り組む。

(4) 家庭・地域とともにある学校づくり

- 地域との交流・体験学習の充実を図る。
(阿波踊り、読み聞かせ、稲作体験、農業体験、獅子舞、邦楽体験、幼小中交流等)
- コミュニティスクールの活性化と地域人材の活用など、地域との協働を推進する。
- 藍や史跡など郷土の伝統文化を尊重するとともに、異なる外国文化の理解に努める子どもの育成を図る。
- 身近な体験活動を通して、人間と環境との関わりについて認識を深め、豊かな感受性を育てるとともに、環境の保護や改善のための実践力を育てる。
- 地域との交流活動を通して、思いやりの心を育て、感謝の気持ちをもって行動できる児童を育てる。
- 未来に夢や希望を持ち、自主的に考え、自立的に判断し、創意工夫しながら主体的によりよく生きようとする態度を養う。

(5) 健やかな心と体の育成

- 家庭・地域との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図る。
- 体育の授業の充実・改善に努め、進んで健康管理・体力づくりのできる児童の育成に努める。
- 徒歩通学や休み時間の外遊びの奨励、体力づくり週間の設定など、子どもたちの運動習慣の確立と体力向上を目指す。
- 「早寝早起き朝ごはん」運動を進め、食育について正しい理解と望ましい習慣を養う。
- 地産地消など食育の学習を生かして、給食の時間を楽しく感謝して食べる実践的学びの場とする。
- 様々な教科等を関連させ、学校の教育活動全体で食育を推進する。

(6) 信頼される教職員集団づくり

- 業務の効率化の推進により、子どもと関わる時間を確保する。
- 校内研修の充実を図り、教師としての資質・能力を高める。(メンター制研修・学校改善委員会等)
- 研究授業を全学年で実施し、教師の授業力、指導力の向上に全教職員で取り組む。
- 教師自らが幅広い視野と教養を身に付けるために自己研鑽に積極的に取り組む。
- 全教職員が、コンプライアンスを遵守し、不祥事根絶に取り組む。
- 高い倫理観と使命感を持ち、子どもと共に学び、子どもと共に伸びるように日々努める。
- 全教職員が参加しての学校運営と組織的対応を目指し協働する。(チーム藍東)
- 教職員同士の連携、協働を心がけ、互いに信頼した教職員集団にする。

【お願い】

私たち教職員は、子どもを教え、育て、目標を指し示し、導く使命があります。私たちの言動や教育実践は子どもの人生や今後の運命さえも大きく左右することがあります。かけがえのない大切な子どもであることを心に留めて、やさしく温かく、時に厳しく、子どもたちの未来のために、ともにがんばりましょう。よろしく申し上げます。